

# 三内丸山架道橋

SannaiMaruyama Bridge

本橋梁は、東北新幹線の八戸～新青森間に建設された、国道7号青森環状道路および沖館川遊水池、沖館川を連続して横断する鉄道橋梁で、橋長450m、最大スパン長150mのPC4径間連続エクストラード橋梁です。新幹線鉄道橋梁としては、国内最大級のスパンを有しています。高速鉄道に必要な走行安全性、乗り心地を満足しつつ、最大スパン150mを実現したものであります。また、隣接する特別史跡三内丸山遺跡との調和を図るため、橋梁景観に対しても十分な検討を行いました。

橋種(活荷重)	鉄道橋
構造形式	PC4径間連続エクストラード2室箱桁橋
橋長	450.0m
最大支間	150.0m
施工法	張出し架設
所在地	青森県青森市三内
発注者	独立行政法人 鉄道・運輸機構 鉄道建設本部 東北新幹線建設局
完成年	2008年
平成20年度	土木学会田中賞 作品部門受賞作品

